

2019年3月7日

北海道知事選挙立候補予定者

様

北海道の鉄道存廃に関する公開質問書

石北沿線ふるさとネットワーク

代表 小川 清人

拝啓 貴殿におかれましては、北海道知事選挙に立候補を表明され、北海道のあるべき姿を求め挑戦されておられますこと、心より敬意を表します。

私どもはふるさと銀河線の存続運動以来16年間にわたり、道内外の地方鉄道の存続を願い様々な取り組みを進めてまいりました。2017年1月にJR北海道が表明した13線区の運行見直しは道民生活と北海道経済の将来に関わる最重要課題であります。道内鉄道網の維持は道民の移動権の確保はもとより、日本の食糧基地の役割を担い、「観光立国北海道」をめざす北海道の生命線であると私どもは考えます。

北海道はこの間、「JR北海道に対する国の抜本的支援」を求めてきましたが、道内鉄道網を維持するための「抜本的支援」策は見えず、また沿線市町村も負担の必要を認識しつつも「地方財政措置」が見送られるなか、具体的支援を表明するには至っていません。このような事態に至っていることには、高橋はるみ知事が道内鉄道網維持のための明確なビジョンをもたず、従って積極的なリーダーシップを発揮できなかったことに一因があります。私たちは知事交代を機に、新たな知事がこの問題でのリーダーシップを発揮しなければならないと考えております。

選挙においては「道内鉄道網維持のためのビジョン」を示していただき、「膠着した事態を打破するための具体策」を提示いただくことで、道民の審判を受ける必要があると考えます。

つきましては、別記の通り7点にわたる質問をし、貴殿のご回答を広く道民にお伝えしたいと考えます。選挙準備にご多忙のこととは存じますが、3月14日までにご回答賜れます様お願いを申し上げます。字数の制限はございませんが、公表の都合上、簡単明瞭に文書によりご回答いただきたいと存じます。尚、回答は下記まで送付をお願い申し上げます。

敬具

(ご回答送付先) 〒090-0817 北見市常盤町2-4-52

石北沿線ふるさとネットワーク

事務局長 長南進一

FAX: 0157-31-0373

メール: gingasen-e999@violet.plala.or.jp

北海道の鉄道存廃に関する質問項目

- 1 JR北海道の経営危機・路線存廃問題が現在及び将来の北海道にとってどのような問題であると考えていますか。
- 2 JR北海道の路線存廃問題、道内鉄道網の維持に対し北海道はどのように関るべきと考えていますか。
- 3 JR北海道の路線存廃問題、道内鉄道網の維持に対し国はどのように関るべきと考えていますか。
- 4 JR北海道の路線存廃問題、道内鉄道網の維持に対し沿線市町村はどのように関るべきと考えていますか。
- 5 「北海道交通政策総合指針」が「維持」または「維持に努める」路線とした輸送密度200人以上2000人未満の8線区について、「維持すべき」と考えていますか。またそのために必要なことは何だと考えていますか。
- 6 JR北海道がバスへの転換を提案した5線区の内、転換に合意していない3線区（日高線・鶴川一様間、根室線・富良野一新得間、留萌線・深川一留萌間）については、どのようにすべきと考えていますか。
- 7 福島県は只見線の復旧のためにふるさと納税を実施しています。また根室市は花咲線存続のために3億円を超えるふるさと納税を達成しました。北海道の鉄道網維持のためのふるさと納税を実施する考えはありますか。

※回答スペースが不足する場合には別記いただければ幸いです。